

## 血中ビタミンA濃度での飼養管理指導を実施

肥育牛の血中ビタミンA濃度は、肉質（霜降り）に影響を及ぼす主要因のひとつで、肥育ステージにおいてビタミンAの給与量をコントロールすることで、高い肉質を目指しますが、不足すると牛の健康に影響します。

当センターでは家畜保健衛生所と協力して、高速液体クロマトグラフィーで血液中のビタミンA濃度を測定しており、今年度は肥育牛延べ 1248 頭の検体を測定しました。

この測定結果をもとに、各肥育農家で飼養している肥育牛の月齢ごとのビタミンA値を各農家にお知らせし、飼料給与と健康観察の指標として指導することで、上物率（肉質等級 5 及び 4 の比率）を上げ、「京都肉」など京都産和牛肉の品質の向上と安定的な供給を推進しています。



農場での採血



優良な京都産和牛肉